

深めよう 地域のふれあい 広めよう ふくしの輪

白方地区社会福祉協議会広報誌

第 8 号

総務グループ

事務局 白方コミュニティセンター

TEL 029(287)3534

ふくし白方

ふれあい協力員のリフレッシュ研修会を実施

9月7日(水) ふれあい協力員89名がバス2台に分乗して、群馬県の「富岡製糸場」(国指定重要文化財)と碓氷峠に架かる「めがね橋」を散策研修しました。

「富岡製糸場」は明治5年、国策として生糸の輸出振興のための器械製糸場をフランス人約10名を招いて、技術指導を受けて建設し創業を開始しました。

建物は「木骨レンガ造り」で繭倉庫、繰糸場など長さ100mを越す大規模なものに驚きながら、15～25歳の若い女工さんが全寮で技術を習得した事などの説明に、当時にスリッパした想いでした。

午後は「めがね橋」を散策しました。群馬から長野県への最大難所であって碓氷峠に200万個の赤レンガで架けられた、我が国最大の4連アーチ式橋梁で明治26年から昭和38年の70年間使用されたもので、目を見張る存在でした。

車内での、先進地域に於ける訪問活動状況などを研修し有意義な一日研修を終了しました。



製糸場



めがね橋

「ふれあい食事会」アンケートで8割超が、今後も参加したい意向

村の行政方針では、ふれあい型食事サービス事業は平成22年度で終了し、以降は各地区社協の自主的な活動となりました。

私たち白方地区社協では現在も2回/月継続し112名の利用者に喜んで頂いております。

しかし、次年度の事業をいかにするかを決める参考にする為、食事会利用者及びスタッフ(調理担当、カーボランテア、会場担当)の皆さんから多項目に亘るアンケートを行いました。(回収率80%以上)

その結果、「食事会に今後も参加したい」が利用者で97%、スタッフ83%を占めました。また、アンケートでは数多くの意見も付されており、分析し取り纏め中です。それが纏まり次第、「ふれあい食事会」に生かしていくことにしております。



百塚地域のふれあい食事会

しらかた交遊会まつりで大好評だった



「炊き込みご飯」

Q & A

白方地区社協、ふれあいグループ長の加藤慶子さんにインタビューしました。

Q 従来からの「おにぎり」に変えて、今年は「炊き込みご飯」は大好評でしたね。

A チョット心配はありましたが、ふれあい協力員の皆さんのアイデアと調理技術？が、食べていただいた皆さんに喜んでいただけたのではないのでしょうか？

Q 数も沢山造られたようですが。

A お米80kgを11回に分けて炊き込みました、造ったパック数は1097パックです。

Q 協力員の皆さんは、前日の仕込み、当日と大変だったでしょうね。

A 前日は27名が協力、当日は31名で頑張りました。

Q 好評だったのは食材？が効いたのでしょうか。

A 一番は「大洋まいたけ」でしょうか？この、まいたけは色が黒くならず、味よし、香りよし、そして出汁よしなんです。他の具材も効いたでしょう。

Q 調理で困った事はなかったのでしょうか。

A コミセン調理室の全ての鍋を使いましたが、それでも不足でした。来年の課題かなー。

Q 来年も是非、宜しく。

A 鬼に笑われますが、承っておきます。



炊き込みご飯 調理中

「ふれあい協力員研修会」を開催

7月17日(日)、白方コミセン多目的ホールにおいて、110名が参加して夏季、ふれあい協力員研修会が開催されました。

午前には2名の講師による講演は、いずれの講話も講師ご自身が体験した事例をもとに迫力に満ちた内容でした。

1. 障害者をとりまく現況と地域に求めたいこと

澤島 京子 氏

(県、重症心身障害児を守る会会長)

2. 大震災に遭遇した困難と地域に求めたいこと

綿引 淳 氏

(グループホーム メジロ苑ホーム長)

参加者揃っての昼食後は3グループ長(総務グループ、支え合いグループ、ふれあいグループ)による本年度年間活動方針が力強く披露され、有意義な研修会を終了しました。



澤島さんの講演

岡地域

11月2日(水)、75歳以上の招待者20名、ふれあい協力員20名で岡集会所にて実施しました。

協力員の手作り手打ちそば、天ぷらによる食事会、吉成講師による語り部、ビンゴゲームを楽しみ、賞品には花鉢を差し上げる等楽しく過ごしました。尚、75歳以上の欠席者には花鉢を届け喜ばれました。



百塚地域

9月の秋晴れの中「百塚区敬老祝賀会」を賑やかに行いました。

今年の余興はNHKで放映されました筑西の「笑いを届ける会」に依頼しました。初めての試みでしたが見事な七変化の演出に大笑いとなり、続いて祝賀会に参加されました方々の詩吟・カラオケの発表で和気あいの時間を過ごしました。



亀下地域

10月22日(金) 亀下集会所に約90名が参加して「ふれあい敬老会」を開催しました。

アトラクションを楽しみ、昼食をとりながらなごやかな時間を過ごしました。アトラクションでは、高齢者がいっしょになってひょうきん踊りや紙芝居、童謡を一緒に歌うなど楽しい一日でした。



豊白地域

9月19日(月) 豊白集会所で招待者22名と役員・スタッフ合わせて47名が参加して開催しました。

オカリナ・カラオケなど楽しく敬老者の皆様を祝いました。



村松北地域

10月1日(土)、招待者20名、ふれあい協力員30名で船石川3区集会所を借用して実施しました。

オカリナ演奏や大正琴演奏、マジックショーなど多彩な出し物に興じた後、全員で「東海音頭」を踊って閉幕となりました。



白方地域

白方区敬老会が9月25日白方コミセンで142名の参加により行われました。

節目の80・85・90才の方々に自治会長から記念品が贈呈され、続いての演芸では、津軽三味線女子の部で日本一となった川井美紀さんの演奏などで楽しい時を過ごし、最後は全員で「懐かしのメロディ」を大合唱して幕を下ろしました。



ふれあい敬老会

豊岡地域

11月12日(土)に豊岡集会所でふれあい敬老会を行いました。

75歳以上の高齢者および会員66名の参加者がありました。ボランティアグループによる、ハーモニカ演奏で懐かしい曲をみんなで歌い華やかなフラダンス披露を見て楽しみ、最後に食事をしながら談笑をして終了しました。



「これからの地域福祉活動を考える」 研修会が開催されました

11月30日(水)、白方コミセンにおいて、東日本大震災を通しての地域福祉活動を考える研修会が開催されました。

討議研修に先立って、稲垣美加子教授(淑徳大学)から話し合いのポイントの説明を受けました。

その中では「震災から3日間は自立生活ができる日頃の備え」や「震災から学んだこと」などが強調されました。

その後、65名の参加者が8グループに分かれて2つのテーマ、
(1) 地域のつながりで助かったこと
(2) 震災の中から地区社協が学んだこと
について討議を行いました。

数多く出された反省、意見をグループリーダーが「地区社協が力を入れたい事」と「日頃から出来る事」に分類しての発表があり、有意義な研修会でした。



梅津会長のあいさつ



グループ討議



グループリーダー発表

あなたも『ふれあい協力員』としてボランティア活動をしてみませんか!!

白方地区社会福祉協議会の事業は全て「ふれあい協力員」の活動が基盤となっています。できるだけ、多くの地域住民の方に活動に参加していただくことが地域福祉充実の鍵となります。本会では多くの方々に協力を願って、いつでも「ふれあい協力員」の希望者を受け付けております。ふれあい協力員となって地域福祉活動に参加してみようと思っておられる方は、下記までご連絡ください。

白方地区社会福祉協議会事務局

TEL 287-3534